



## 朝レ大敗

## まさかの予選落ち

今年は、悪天候の影響で5月3日からの開催となりました。各クルーが全力を出し試合に臨みましたが、思いがけない結果となってしまいました。

### ～レース結果～

#### 〈対校エイト〉

##### (予選)

鹿児島大	①	2' 57" 23
同志社大	3	2' 59" 23
立命館大	4	3' 01" 23
京 都 大	②	2' 58" 22
みささRC	6	3' 14" 84
大阪府立大	5	3' 05" 48

スタートでいきなり、鹿大、京大に出られ、300mあたりから、鹿大が他クルーをつき放した。京大とはずっと半艇身差であったが、ついにさせないままゴール。スタート、コンスタント共に実力不足であった。

#### 〈Jr. エイト〉

##### (予選)

近畿大	4	3' 09" 11
同志社艇友会	①	3' 03" 74
柴紺艇友会	②	3' 04" 66
務古艇友会	5	3' 10" 53
白鷗艇友会	6	3' 17" 76
甲 南 大	3	3' 05" 93

##### (準決勝)

関西大	4	2' 58" 88
三洋電機滋賀	②	2' 56" 50
N T T 東京	①	2' 55" 15

神戸大	3	2' 57" 42
同志社艇友会	5	3' 00" 54

スタート出遅れたものの、コンスタントで神大、関大にぴったりくらいついた。がラストスパートで再び離されてしまい、結局5位に終わった。タイム的にはクルー最高のタイムであった。

#### 〈対校フォア〉

##### (予選)

札幌RC	①	3' 48" 29
同志社大	②	3' 53" 61
桃山艇友会	キケン	
大阪ガス「BIRGO」	4	4' 18" 41
ライトオレンジクラブ	3	4' 05" 30

##### (準決勝)

大阪府立大 POSEIDON	6	3' 38" 22
鳥取大(医) SPIRITS	4	3' 29" 18
高知大	2	3' 19" 58
京都大(医)	3	3' 24" 70
石川選抜	①	3' 17" 95
同志社大	5	3' 31" 70

最悪のコンディションの予選を粘り強く勝ち進んだフォアではあったが、準決勝クラスでは1本1本の力が全く違うコンスタントに歴然とした差があった。若いクルーではあったがもう少し良いタイムを出してほしかった。



対校エイト (右からcox功力、宮崎、吉田拓、米山、堀内、原田、内田、加藤、嶋本)

## 〈シングルスカル〉

### (予選)

大石 (大阪工大)	6	4' 27" 31
山本 (龍谷大)	5	4' 21" 14
阿部 (インテックリース)	①	3' 38" 57
北村 (瀬田 R. C. A)	4	4' 14" 48
松城 (同志社大)	②	4' 06" 15
石戸 (住金和歌山)	3	4' 06" 90

早坂 (同志社大)	5	4' 16" 46
松本 (松江 R. C)	②	3' 43" 84
坂田 (インテック)	①	3' 34" 99
藤川 (龍谷大)	6	4' 38" 70
佐原 (ヤマハ新居)	3	3' 44" 84
吉田 (本田技術鈴鹿)	4	3' 58" 30

### (準決勝)

深村 (ヤマハ新居)	5	3' 59" 89
辻 (岡山大 A)	3	3' 45" 28
水野 (N T T 関西)	2	3' 43" 78
松本 (松江 R. C)	①	3' 41" 19
島田 (滋賀銀)	4	3' 54" 91
松城 (同志社大)	6	4' 03" 68

予選、早坂は初レースの緊張からか、いつもの本調子ではなかった。肩に力が入りあわててしまったようだ。一方の松城は、準決勝で3分を切ることを目標に臨んだが、スタート、スパートのつめも甘いままだったため、それは達成できずに終わってしまった。

## “夏”への闘志

また、熱い夏がやってきます。今年はきっとやってくれると思います。選手達の意気込みを感じて下さい。

### 主将 4回生 宮崎寿春 対校4番

朝日レガッタが終った。それも予選で。

負けた理由？今さら言うまでもない。単に弱かったからだ。弱すぎたからだ。秋から積み重ねてきた事が、たった3分たらずで全て崩れてしまった。湖の王者であった同志社は過去の同志社であり、我々ではない。このことをクラブの全員がしっかり自覚することから新しい一歩を踏み出そうと思う。

挫折を乗り越えて大きく成長する者。あるいは、そこでくじける者。

我々は前者でなければならない。プライドを捨て、最後方から追い込もう。これから3ヶ月という長い坂で、我々の前にいるすべてのクルーを抜き去ろう。あせる必要はない。死んだふりをしてそっと後ろに忍びより、ズバッと一気に抜き去ればいい。

勝負の世界は強い者が勝つのではなく、勝った者が強いのだ。そして、勝った時にはじめて後ろを振り返ればいい。その道程は、今後の同志社の良き道しるべとなるだろう。

いざ東へ、今の屈辱を晴らすべく、歴史に新たな栄光を刻むべく、いざ東へ。

### 3回生 内田琢也 対校 Bow

朝日レガッタの惨敗。

対校クルーのメンバーはもちろん、部員の誰もがあれほどひどい結果に終るとは思っていなかっただろう。しかし、考えてみると負けても仕方ない状況にあったのではないかと思えてきた。たしかにそれなりに艇は走っていた。だが、それは、結局「それなりに」でしかなかった。また、乗艇練習や陸トレに真剣に取り組んできたが、今一つ厳しさ、激しさに欠けていたのではなかったのか。つまり精神面、技術面、体力面、いずれにおいても、他を圧倒するようなものを備えていなかったのだ。5月下旬となった現在、我が対校クルーは漕ぎ込みに入った。

決して妥協の許されないハードな練習となってくるが、これ乗り越えて他のクルーを圧倒する力強さを持ち、関東・インカレ・全日本に向けて執念と気迫で臨めるようにしたい。

結果を出さなければ、全てが無になってしまう。“勝つこと”を目指すのみである。

### 4回生 谷 昌二郎 Jr.整調

朝日レガッタを終えて感じたのは、メンバー1人1人の精神的な成長である。特に2回生は本当にたくましくなったと思う。声と気迫ではどこにも負けておらず、実力は全て出したと思う。しかし、これが限界であり、対校と各個人との実力差は明白である。

今後の課題は、個人のレベルアップである。つまり、1人1人が対校のシートを狙える力をつけることである。あまり小さくまとまらず、粗削りでいいから大きく伸ばしていきたい。毎年Jr.のピークは朝レであり、本当の試練はこれからである。今のJr.の「勢い」や「がむしゃらさ」を大事にして1人1人、しつこくJr.全体の技術の向上をはかり、夏の試合で必ず結果を残したい。

また、最大の目標は、対校に乗ることであり、対校に勝つことである。この気持ちをもって前面に出して、毎日のモーションをやっていききたい。

### 2回生 押領司哲也 Jr.Bow

僕達Jr.クルーは、朝日レガッタでそれなりのタイムを出しました。しかし、まだまだ個人的なレベルは低く、今のままではあれが限界ではないかと思えます。この限界を打破すべく、一日一日のモーションでレベルアップを図っているところです。このクルーは、coxも含めて2回生が5人乗っており若い分未熟ですが、まだまだ可能性を秘めていると言えるかもしれません。

まだシーズン中に来シーズンのことを言うのも何ですが、現3回生の人数を考えると、僕達2回生が来シーズンはクラブの原動力にならねばなりません。そのためには、今シーズン中に掴めるものは全て掴むぐらいのつもりでモーションやレースに取り組んでいかなければならないでしょう。

この姿勢は必ず次につながると思っています。

### 4回生 小林俊樹 フォアBow

ボートを漕いで7年、今年で我がボート人生も終りである。その最後を締めくくる仕事は、今、自分と同じようにフォアに乗るcoxを含めて四人の出来の悪い2回生を引っ張り、技術・体力・人格・その他、あらゆる面に



おけるレベルを向上させることだと考えている。来シーズンから、対校・Jr.・その他、艇の上のみならず、同志社大学ボート部という団体の中においても、他の人間を率先して先導したり支えたり、いわば推進力となって働く者を育てるためである。レースでの勝敗は、この次である。自分にとって勝ち負けの答えが出るとすれば、それは二年後の、この四人の働きで明らかになる。

非力な自分にどこまで実現できるかわからないが、今こそ自分の真価が問われている時であると感じている。

何としても、最後に任されたこの仕事はやり通して見せる。

### 2回生 木内良典 シングルスカル

スカルに乗って、1ヶ月近くになろうとしている。初めの頃は、まだ朝日が昇る前から1人で1時間もの乗艇をすることが、無生に寂しかった。でも、最近は、そんな気持ちもなくなり、乗艇中に誰からも注意を受けないので勝手に調子に乗って漕いでいる。

なぜ、スカルに乗せられたのか自分の欠点をよく見つめ直して漕いでいかなければならないが、艇がのびるものびないも全てが自分次第だから、いい感じがつかめてくると、気分がいいものである。

試合のことを考えると、不安で嫌な気持ちになるが、そういう気持ちをかき消せるような自信を持って、試合に臨めるように毎日のモーションに気合いを入れていきたい。



対校フォア (右からcox中澤、藤井、小林俊、竹内、木内)



Jr.エイト (右からcox三野、谷、喜多、勝本 吉田武、井上、中西、宇戸、押領司)

# 新 入 部 員 紹 介

## 西村泰隆 商学部 搭南高校出身

伝統のある同志社大学ボート部に入ったからには、名門復活を果たすべく頑張ります。

## 佐伯 明 商学部 川之江高校出身

大学生活4年間をボートで完全燃焼します。全日本を狙えるように頑張ります。

## 小吹 悟 商学部 麻溝台高校出身

同じ志をもつ仲間たちと共に4年間ボートひとすじに完全燃焼でがんばります。よろしくお願いします。

## 近藤邦彦 法学部(法) 豊中高校出身

自分でできることはとにかく何でもやれるところまでやってみて100期生にふさわしいような漕手になりたいです。

## 森田徳教 法学部(法) 中村高校出身

田辺と今出川とボート部合宿所をまたにかけて4年間燃えます。よろしくお願いします。

## 金咲越郎 法学部(法) 大阪貿易学院出身

ボート部での4年間をすばらしい仲間たちと共に“熱き青春”と呼べる日々として送りたい。

## 伊藤 崇 文学部(哲・倫) 高槻北高校出身

ボートは精神力が要求されるスポーツなので精神面を鍛え、充実した日々が送れるように頑張りたいと思います。

## 藤牧宏彰 文学部(哲・倫) 岡谷南高校出身

必ず優勝を成し遂げ、名coxとして同志社ローイングの歴史に残るように頑張りたいと思います。

## 河口充勇 文学部(社) 畝傍高校出身

4年間、何の目的もなくただだと生活するのが嫌で入部しました。  
一生懸命、最後までがんばりたいと思います。

## 古山裕基 II部法学部 尼崎北高校出身

これまでの平凡な生活ではなく、ボート部員として4年間で何かを得られるように、とにかく頑張ります。

## 加藤文穂 文学部(英文) 磐田南高校出身

大学生活という貴重な4年間で、ボートを通して何かを得られるように、一生懸命やっていきたいです。

## 二瓶伸子 文学部(英文) 磐田南高校出身

今は頼りない私ですが、ボート部で多くのことを学び、ひとまわり大きな人間になれるようにがんばります。

## 矢田修子 文学部(社) 広島大学附属高校出身

ボート部マネージャーという仕事の中で、自分を鍛え成長させていくことができたら幸いです。

## 大西直子 経済学部 米子西高校出身

単なるマネージャーではなく、ボート部員としての自覚と責任感をもって頑張りますので、よろしくお願いします。

### 〈今後の試合日程〉

6/29～7/7 イギリス遠征(7/3～7ヘンリーロイヤルレガッタ)

7/27～28 関西選手権大会

8/22～25 全日本大学選手権大会  
全日本選手権大会  
オックスフォード盾レガッタ

### 〈編集委員〉

田村 麻理子  
加藤 文穂  
大西 直子

### 部 報 力 漕

1991年6月 発行

発行 同志社大学ボート部

〒520-21 大津市瀬田3-2-30

TEL 0775-45-0702

FAX 0775-43-1194